

## 入札公告

(建築のためのサービスその他の技術的サービス(建設工事を除く。))

次のとおり一般競争入札に付します。

平成24年9月7日

支出負担行為担当官

沖縄防衛局長 真部 朗

### 1 業務概要

(1) 業務名 嘉手納(H24)土木工事監理業務(電子入札対象案件)

(2) 業務内容 本業務は、嘉手納飛行場内における以下の工事に係る工事監理業務を行うものである。

・【駐機場新設】

- 1 造成工事(切土工 約11,000m<sup>3</sup>、盛土工 約17,000m<sup>3</sup>)
- 2 舗装工事(コンクリート舗装 約42,000m<sup>2</sup>、アスファルト舗装 約3,000m<sup>2</sup>等)
- 3 給水工事(給水管 約250m等)

・【誘導路新設】

- 1 造成工事(切土工 約13,000m<sup>3</sup>、盛土工 約300m<sup>3</sup>)
- 2 舗装工事(コンクリート舗装 約19,000m<sup>2</sup>、アスファルト舗装 約5,500m<sup>2</sup>等)
- 3 給水工事(給水管 約220m等)

予定業務員数(契約日の翌日から平成27年3月)

技師(A) 延べ 25回(管理技術者)

技師(C) 常駐 1名 23ヶ月間

巡回 延べ 40回

なお、詳細については、特記仕様書による。なお、ここに記載の内容が、特記仕様書等と異なる場合には、特記仕様書等を優先するものとする。

(3) 履行期限平成27年3月31日まで

(4) 本業務は、「技術提案」を受け付け、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式の試行対象業務である。

(5) 本業務は、業務費内訳明細書の提出を義務付ける業務である。

(6) 本業務は、資料提出及び入札を電子入札システムで行う対象業務である。ただし、電子入札システムにより難しいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えるものとする。

なお、紙入札方式の承諾に関しては沖縄防衛局総務部契約課に承諾願を提出するものとする。

(7) 本業務は、低入札価格調査を経て契約した業務等について、業務の品質確保を図ることを目的として、受注者の負担において第三者履行確認を義務付ける試行対象業務である。

### 2 競争参加資格

(1) 競争に参加することができる者は、次のすべての事項に該当する者であること。

ア 予算決算及び会計令(昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。)第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

イ 装備施設本部長から測量・建設コンサルタント等業務の「土木」に係る一般競争参加資格で「Aランク」の格付を受け、沖縄防衛局に競争参加を希望していること。(会社更生法(平成14年法律第154号)に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、再度級別の格付を受けていること。)

ウ 次に示す同種業務について、平成14年度以降に完了した業務（再委託による業務の実績は含まない。）において1件以上の実績を有すること。

・同種業務：航空機を対象としたコンクリート舗装工事の工事監理業務を履行した実績を有すること。

なお、業務実績が地方防衛局又は地方防衛支局（長崎防衛支局を除く。）（以下「地方防衛局」という。）（旧防衛施設局及び防衛施設支局（以下「旧防衛施設局等」という。）を含む。）と平成16年4月1日以降に契約した業務の場合は、業務成績評定表の評定点合計（以下「評定点合計」という。）が65点未満のものを除くこと。

エ 沖縄防衛局が発注した業務のうち、平成22、23年度（当該年度を含まない過去2年間）に完成・引渡し完了した業務の成績がある場合においては、業務成績評定点合計の平均が65点以上であること。

オ 次の基準をすべて満たす技術者を配置できること。

#### (7) 予定管理技術者

予定管理技術者については、次のaからdに示す条件を全て満たす者であることとする。

a 次の資格のいずれかを有し、かつ、実績を有すること。

##### 【資格】

1. 技術士（総合技術監理部門：建設部門関連科目）又は（建設部門）
2. 一級土木施工管理技士
3. 土木学会特別上級技術者、土木学会上級技術者又は土木学会一級技術者
4. （社）全日本建設技術協会による公共工物品質確保技術者（Ⅰ）又は公共工物品質確保技術者（Ⅱ）
5. R C C M又はR C C Mと同等の能力を有する者（技術士部門と同様の建設部門に限る）

##### 【実績】

過去10年以内に同種業務（※）についての実績を1件以上有するもの。

※同種業務：国、都道府県、政令市、特殊法人等が発注した工事監理業務をいう。

b 平成14年度以降に完了した業務のうち、次に示す同種業務において1件以上の経験を有する者。

・同種業務：航空機を対象としたコンクリート舗装工事の工事監理業務を履行した実績を有すること。

なお、経験が地方防衛局等（旧防衛施設局等を含む。）と平成16年4月1日以降に契約した業務の場合は、評定点合計が65点未満のものを除くこと。

c 公告日現在の手持ち業務量（本業務を含まず、特定後未契約のものも含む）が4億円未満かつ10件未満である者。

《注：「手持ち業務」とは管理技術者又は照査技術者若しくは担当技術者となっている契約金額500万円以上の業務である。》

なお、公告日現在の手持ち業務に沖縄防衛局発注業務で調査基準価格を下回る価格で落札した業務がある場合は、手持ち業務量が2億円未満かつ5件未満である者。

d 申請者と直接的かつ恒常的な雇用関係があること。

#### (イ) 予定配置技術者

以下のいずれかを有していること。

1. 技術士（総合技術監理部門：建設部門関連科目）又は（建設部門）、技術士補（建設部門）
2. 一級土木施工管理技士又は二級土木施工管理技士
3. 土木学会特別上級技術者、土木学会上級技術者、土木学会一級技術者又は土木学会二級技術者
4. （社）全日本建設技術協会による公共工物品質確保技術者（Ⅰ）又は公共工物品質確保技術者（Ⅱ）
5. R C C M又はR C C Mと同等の能力を有する者（技術士部門と同様の建設部門に限る）
6. 「管理技術者に必要とされる同種業務の実績」と同様の実務経験が1年以上の者
7. 公共工事の発注者として技術的実務経験を10年以上の者 なお、管理技術者との兼務は認めない。

カ 競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、沖縄防衛局

長から、「工事請負契約等に係る指名停止等の措置要領について（通達）」（施本第1605号(CCP)。6.8.31)に基づく指名停止を受けていないこと。

#### キ 暴力団関係業者の排除

(ア) 都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者については、競争参加を認めない。

(イ) 入札後、契約を締結するまでの間に、都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者とは契約を行わない。

#### (2) 競争参加資格を与えない要件

技術提案書の記載内容が次の事項のいずれかに該当し、業務が適切に履行できないと判断される場合は、競争参加資格を与えない。

ア 技術提案書の提出がない場合

イ 内容がほとんど記載されていない場合

ウ 提案内容が判断できない場合

### 3 総合評価に関する事項

#### (1) 評価項目

本業務の総合評価は、次のアからオと価格を総合的に評価して落札者を決定するものとする。

ア 企業の経験及び能力

イ 予定管理技術者の経験及び能力

ウ 予定配置技術者の経験及び能力

エ 実施方針

オ 配置予定技術者のヒアリング

#### (2) 落札者の決定方法

ア 入札参加者は、価格及び(1)アからオをもって入札をし、入札価格が予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内であるもののうち、(3)によって得られた数値（以下「評価値」という。）の最も高い者を落札者とする。

イ 上記において、評価値の最も高い者が2人以上あるときは、該当者にくじを引かせて落札者を決定する。

#### (3) 総合評価の方法

ア 評価値の算出方法

価格と価格以外の要素がもたらす総合評価は、「価格評価点」と「技術評価点」の合計を評価値として付与する。

イ 価格評価点

価格評価点の算出方法は、以下のとおりである。

なお、価格評価点の満点は60点とする。

$$\text{価格評価点} = 60 \text{点} \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$$

ウ 技術評価点

技術評価点の算出方法は、以下のとおりである。

なお、技術評価点の満点は60点とする。

$$\text{技術評価点} = 60 \text{点} \times (\text{技術評価の得点合計} / \text{技術評価の配点合計})$$

(4) (1)の評価項目の詳細は入札説明書による。

#### (5) 罰則等について

実際の業務に際しては、総合評価に関する事項の業務計画について記載された内容に基づ

き、業務計画書作成及び実業務を行うものとする。

受注者の責により提案内容を満足する業務が行われない場合は、ペナルティーとして、業務成績評定を減ずることとし、最大10点減ずる。

#### 4 入札手続等

##### (1) 担当部局

〒904-0295 沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納290-9

沖縄防衛局総務部契約課契約審査係

電話 098-921-8131 内線 (155)

##### (2) 入札説明書の交付期間、交付場所等

ア 交付期間 平成24年9月7日 から 平成24年10月12日 まで（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条1項に規定する行政機関の休日（以下「行政機関の休日」という。）を除く。）の毎日、午前8時から午後10時まで。ただし、金曜日は午後6時まで 平成24年10月12日は午後3時まで。

イ 交付場所 防衛施設建設工事電子入札システムセンターホームページより提供する。

<http://www.mod-eboc.go.jp>

ウ 交付方法 すべて電子データで交付を行う。

文書類 PDF（Acrobat8形式以下）

図書類 PDF（Acrobat8形式以下）

数量表等 PDF（Acrobat8形式以下）

申請書類 一太郎（Ver2007形式以下）等

なお、標記以外の形式による提供は一切行わない等

エ 使用条件 ダウンロードした資料の取り扱いに関する利用規則に同意すること。

##### オ 印刷物による交付

やむを得ず印刷物による交付を希望する場合は、印刷物による交付を希望する旨の申込書（書式自由、業務名等、郵便番号、住所、商号又は名称（押印済みのもの）、電話番号、担当者氏名記載のもの。）を上記(1)に示す担当部局へ持参すること。ただし、交付期間のうち、行政機関の休日及び、正午から午後1時までの間を除いた毎日、午前9時から午後5時までとする。

また、郵送（書留郵便に限る。）若しくは託送（書留郵便と同等のものに限る。）（以下「郵送等」という。）による交付を希望する場合は、申込書と着払いのラベル（申込者の住所・氏名を記載）を同封し、上記(1)に示す担当部局へ送付すること。

なお、印刷物による交付については貸与とし、開札日から14日以内に返却するものとする。（郵送等による場合は期限内必着）

##### (3) 申請書及び技術資料の提出期間、提出場所及び提出方法

ア 提出期間 平成24年9月7日 から 平成24年9月20日 まで（行政機関の休日を除く）の毎日、午前8時から午後10時まで。ただし、金曜日は午後6時まで。平成24年9月20日は午後3時まで。

紙入札方式による場合は、午前9時から午後5時まで（正午から午後1時までの間を除く。）。平成24年9月20日は午後3時まで。

イ 提出場所 紙入札方式による場合は、(1)に同じ

ウ 提出方法 電子入札システムにより提出を行うこと。ただし、申請書及び資料が3MBを超える場合の提出方法等については、入札説明書による。紙入札方式による場合は、持参又は郵送（書留郵便に限る。）若しくは託送（書留郵便と同等のものに限る。）（以下「郵送等」という。）すること。

(4) 入札書の提出期間、提出場所及び提出方法

ア 提出期間 電子入札システムによる入札の場合は、平成24年10月9日から平成24年10月11日まで（行政機関の休日を除く。）の毎日、午前8時から午後10時まで。金曜日は午後6時まで。ただし、平成24年10月11日は午後3時まで。紙入札方式による場合は、午前9時から午後5時まで（正午から午後1時までの間を除く。）。ただし、平成24年10月11日は午後3時まで。

イ 提出場所 紙入札方式による場合は、(1)に同じ。

ウ 提出方法 電子入札システムにより提出すること。ただし、紙入札方式による場合は、持参によるものとし、郵送等による提出は認めない。

(5) 開札の日時及び場所

ア 開札日時 平成24年10月15日 午前 10時30分

イ 開札場所 沖縄防衛局 1階 入札室 1

5 その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金 免除。

(3) 契約保証金 納付（保管金の取扱店 日本銀行コザ代理店（沖縄銀行コザ支店））。ただし、利付国債の提供（保管有価証券の取扱店 日本銀行コザ代理店（沖縄銀行コザ支店））又は金融機関若しくは保証事業会社の保証（取扱官庁 沖縄防衛局）をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金を免除する。

(4) 入札の無効

次に掲げる入札は無効とする。

ア 本公告に示した競争参加資格のない者のした入札

イ 申請書又は技術資料に虚偽の記載をした者のした入札

ウ 入札に関する条件に違反した入札

エ 電子入札システム又は郵送等により入札書の提出を行った者のした入札

(5) 落札者の決定方法

落札者は、上記3に定めるところに従い評価値の最も高い者とする。ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められたとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内で、発注者の定める最低限の要求要件を全て満たして入札した他の者のうち評価値が最も高い者を落札者とする可能性がある。

(6) 落札者となるべき者の入札価格が予決令第85条の規定に基づいて作成された基準を下回っている場合は、第86条の調査を行うものとする。

(7) 配置予定技術者のヒアリングを行う。

(8) 契約書作成の要否 要。

(9) 関連情報を入手するための照会窓口 上記4(1)に同じ。

(10) 競争参加資格の級別の格付を受けていない者の参加 上記 2 (1) イに掲げる競争参加資格の級別の格付を受けていない者も上記 4 (3) により申請書及び資料を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時に於いて、当該資格の格付を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。

(11) 詳細は、入札説明書による。